

建設技術展等の開催報告

～ふれあい土木展 2017～

産学官の連携で、未来を担う世代に 土木・防災技術の魅力を発信

国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所 技術情報管理官 ふくもと まさくに
福本 匡城

1. はじめに

近畿地方整備局近畿技術事務所では、幅広い人々に土木技術への理解を深めていただくとともに、安全・安心な暮らしをささえる「人と技術」の魅力を発信する「ふれあい土木展 2017」を2017年11月10日（金）、11日（土）の2日間にわたり開催しました。

高度成長期以降、大量に整備された社会インフラが高齢化する時代を迎え、これらを効率的に維持管理していくための新たな技術開発など、私たちの暮らしの安全・安心をささえていく土木技術の社会的役割は、将来にわたってますます重要となっているその一方で、一般住民が日常生活で土木に関わる機会は減少しています。

このような中、土木技術に関わっている関係者が、その魅力をアピールしていくことが重要と考え、近畿技術事務所では土木技術に関わる産学官の関係者（表-1）が連携、協働して、51の出展と3つのイベントを実施しましたので、紹介します。

2. 土木・防災技術に関わる建設機械・施設の展示や体験

普段、間近で観たり、触ったり、乗ったりする機会がほとんどない建設機械の運転席への搭乗体

表-1 出展参加・後援団体一覧（順不同）

区分	団体等名
主催	国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所
参加	国土交通省 近畿地方整備局 企画部、河川部、道路部 淀川河川事務所 大和川河川事務所 大阪国道事務所 浪速国道事務所 六甲砂防事務所 淀川ダム統合管理事務所
	国土交通省 国土地理院 近畿地方測量部
	気象庁 大阪管区気象台
	枚方市
	枚方寝屋川消防組合
	西日本高速道路株式会社 関西支社
	公益社団法人日本測量協会 関西支部
	一般社団法人日本建設業連合会 関西支部
	一般社団法人建設コンサルタンツ協会 近畿支部
	一般社団法人大阪府測量設計業協会
	一般社団法人日本建設機械施工協会 関西支部
	一般社団法人日本橋梁建設協会 近畿事務所
	一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会 関西支部
一般財団法人橋梁調査会	
後援	公益社団法人土木学会 関西支部 一般社団法人近畿建設協会

験可能な展示として、バックホウ、ブルドーザ、2本腕のロボット建設機械「ASTACO」(写真-1)を展示し、たくさんの子供たちに楽しく体験してもらいました。他にも災害時に活躍する照明車や災害対策本部車（写真-2）などの災害対策機械の展示・紹介も行いました。

また、近畿地方整備局の災害対策ヘリコプター「きんき号」(写真-3)は轟音とともに着陸する

姿が迫力満点で、着陸地点には多くの家族連れであふれ、着陸後の機内の見学においても長蛇の列ができるなどメインイベントの一つとなっています。

さらには、地震車による地震体験（写真－４）や水没ドア体験（写真－５）、今回は新たに近畿地方整備局で保有している路面清掃車（写真－６）の展示やバリアフリー体験（写真－７）など、土木・防災技術に関わる多種多様な展示を行いました。



写真－４ 「地震車」による地震体験



写真－１ 「ASTACO」の展示



写真－５ 水没ドア体験



写真－２ 「災害対策本部車」の紹介



写真－６ 「路面清掃車」の展示



写真－３ 「きんぎ号」の機内見学



写真－７ バリアフリー体験

3. 小学生見学ツアー

地域の4小学校から約400名の子供たちが10日（金）に課外授業の一環として見学ツアー（写真－8）に参加しました。土石流模型（写真－9）や地震・津波の原理の模型，レンガブロックでつくるアーチ橋の組立など，楽しみながらも学習していました。

また，隣接する淀川ダム統管理事務所では，ダム統管理指令室を開放して，淀川水系内のダムや堰の仕組みや働きについても学んでもらいました。

4. 写真家大村拓也氏による講演

「黒板を入れずに現場を撮ろう ～土木屋さんのための写真講座～」として，フリーの写真家である大村拓也氏に講演いただきました（写真－10）。

「日経コンストラクション」や「土木学会誌」をはじめとする数多くの業界専門誌に掲載された施工現場での撮影，取材，執筆の体験をもとに，土木構造物や作業風景の効果的な撮影方法から，土木遺産に学ぶものづくりのモチベーションに関する話題まで，自身が撮影した多くの現場写真を用いながら，非常にわかりやすく紹介いただきました。

5. 研究室対抗 関西土木リーグ

関西に所在する7つの大学と1つの高等専門学校から，12の土木系研究室の学生がパネルや模型を用いて様々な技術研究とその魅力を紹介し，その表現力などについて競い合いました（写真－11）。

近畿技術事務所の職員による審査と来場者の投票により，優秀賞，奨励賞，特別賞をそれぞれ2題ずつ，計6題が表彰されました（表－2）。



写真－8 小学生見学ツアー



写真－9 「土石流模型」の見学



写真－10 写真家大村氏による講演



写真－11 学生による研究内容説明

表-2 研究室対抗 関西土木リーグ 受賞研究室

受賞	学校名	研究タイトル
優秀賞	明石工業高等専門学校	河道の弯曲と堰湛水の影響を受ける河川合流部の河床変動とその制御
	大阪市立大学大学院	高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力向上に関する実験的研究
奨励賞	京都大学	津波避難訓練および支援ツールの開発研究
	大阪大学	ゲリラ豪雨時における道路に対する土砂流出の危険度評価
特別賞	京都大学大学院	スパイラル鋼管を用いた橋脚柱の耐荷力・変形性能に関する研究
	摂南大学	巨椋池を活用した淀川三川合流域における生態系保全に関する研究



写真-12 スンプラリー&缶バッジ

6. スンプラリー、子供用防災服の試着

事務所構内各所に配置したスンプラリーや建設機械の写真を載せたオリジナル缶バッジのプレゼント（写真-12）、さらには今年から建設機械との記念写真用に子供サイズの防災服（写真-13）を準備したところ、子供たちのみならず大人の方にも非常に好評でした。

7. おわりに

開催日は両日とも肌寒い日でしたが、前年度と同じく約1,700名という多数の方に来場いただき、主催者として大変うれしく思っております。

来場者アンケートでは、「来年も参加したいです。子供が楽しんで体験していました。」「どれ



写真-13 子供防災服の試着

も参加できるものはおもしろくて、小さい子供も一緒に楽しめました。」など高評価をいただきました。一方では、幼児にもわかりやすい説明や出展数の増加など要望も受けており、さらなる改善を図って、今後もより良い土木展を開催したいと考えています。

最後になりましたが、「ふれあい土木展2017」の開催にあたり、参加、出展、後援をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。